

在鸣门 2023 年 11 月 总第 197 期

大麻比古阿波神社和十二神社的祭祀典礼 大麻比古神社と十二神社の祭り

11 月 3 日是日本的法定假期。在这期间，会举行很多传统的祭祀典礼，在这里选择两个和大家一起分享。

11 月 3 日は文化の日、いろいろな伝統的な行事が開催されます。ここで二つの行事を皆さんと一緒に共有してみたいと思います。



首先是有很高名气的大麻比古神社，位于鸣门市的大麻山上，紧邻德国馆。在这里，可以祈祷母子平安，交通安全，祛除厄运等等。神社内有一株超过 1000 年的楠树，是鸣门市指定的天然纪念物。每年的 11 月 1 日举办祭祀典礼，政治、经济、文化界的重要人士都会前来参加。

まずは人気が高い大麻比古神社。鳴門市の大麻山に位置し、近くにドイツ館があります。ここでは安産祈願や交通安全、諸災消除などを祈祷できます。境内には 1000 年以上の楠が崇められており、鳴門市指定の天然記念物です。毎年 11 月 1 日の例祭には、政治、経済、文化などの要人が参加されます。



其次是位于鸣门市妙见山南麓的十二神社，这里在 11 月 3 日举办了例行祭祀

仪式。期间，会有人推着供有神排位的轿子会在周边的住宅区穿行，居民们就会陆续来到轿子前进行祭拜。另外，还有当地的小朋友在神轿上进行演奏，周围也有小吃店和卖各种玩具的店铺。

次は鳴門市妙見山南側の十二神社。11月3日に例祭がありました。お神輿が周りの住宅街を巡回し、住民の皆さんは参拝にきていました。また、子供たちもだんじりの上で演奏し、軽食やおもちゃを売っている屋台も並びました。



鳴門教育大学的接力马拉松 鳴門教育大学のリレーマラソン

11月5日，时隔4年的接力马拉松在鸣门教育大学正式开跑。选手们5到15人组成一队，以接力跑的形式跑40圈，1圈约1.055千米。对于每位选手一次跑几圈没有限制，所以合理的分配休息与跑步的时间就十分的重要。第一名的成绩是2小时11分54秒。

4年ぶりのリレーマラソンが11月5日に鳴門教育大学でスタートしました。1チームの選手は5人～15人で、リレー方式で1周約1.055kmのコースを40周走り続けます。一人一回で何周まで走るかは特に制限はありませんが、休憩の時間を有効に利用し、役割分担は大切です。優勝したチームの成績は2時間11分54秒でした。



沿道では多くの大学生ボランティアが応援し、段差がある所や急なカーブのところなども声をかけてくれます。

一路上有很多的大学生志愿者在为选手加油，路上有减速带以及急转弯的地方也都有志愿者进行引导。



金刀比罗神社の相扑比赛 コンぴら相撲大会

11月11日，时隔4年的相扑比赛在鸣门市的金刀比罗神社の相扑场地举办，从幼儿园组到小学生共计有超过40人出场比赛。要来看比赛，先要攀登一段石台阶，看起来并不算太长但是比较陡，一下子爬上来还是有些累的。之前在电视上看到的相扑比赛，选手的身体越是庞大，越有优势。不过真正开始比赛的时候，多次出现了借对手之力，将其推倒或者推出赛场的场面。

4年ぶりの相撲大会は鳴門市の金刀比羅神社で11月11日に開催されました。幼稚園から小学6年生まで40人以上が出場しました。大会を見るためには、先に石階段を登る必要があります。見た目はそれほど長くないですが、険しいため一気に上まで登ると少し疲れます。今まではテレビで相撲の試合を見ていました。体が大きい方が試合に有利な感じがしましたが、実際の試合を見ると、相手の力を借りて、押し返したり、押し出したりするなどがよくありました。



凡是比赛，有赢家，就有输家。我在一旁看到小朋友在输掉比赛后失声哭泣，一旁的父母在孩子情绪稍微稳定后前来安慰。这次的相扑体验相信会给他们带来美好的回忆。

試合は勝者がいれば、敗者もいます。試合に負けて泣いた子供のそばに、慰めるご両親の姿がありました。今回の相撲体験はきっといい思い出になるとおもっています。



鸣门医院的开放日活动 鳴門病院まつり

为纪念鸣门医院成为地方独立行政法人 10 周年，11 月 25 日举行了开放日活动。来到现场的人可以获得一个礼包，内有鸣门金时红薯和其他的宣传册，回答张贴在医院各处的问题后可以领到一份礼包。鸣门医院附属看护专门学校（护理学院）的学生们贯穿起了整个活动，从进门的发放资料，各种活动的参与以及手语和阿波舞表演，让我看到了学生们的另外一面。



鳴門病院の法人設立 10 周年の記念事業として、11 月 25 日に鳴門病院まつりが開催されました。来場者に鳴門金時やチラシをセットに入れたプレゼントを配布していました。病院のいたるところに張り付けた質問を探し、正解できた参加者もプレゼントをもらうことができました。鳴門病院付属看護専門学校の学

生たちがイベント全体を支える形で、入口のチラシ配り、各イベントの案内や協力、ステージの手話コンサート、阿波踊りなどを通じて、学生たちのほかの一面が見えました。



所属：鳴門市文化交流推進課

住所：鳴門市撫養町南浜字東浜 170 (〒772-8501)

TEL：088-684-1214／FAX：088-683-0237

E-mail：bunkakoryu@city.naruto.i-tokushima.jp

作成：呉 世康